



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月10日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東
 コード番号 7090 URL https://ligua.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大浦 徹也 TEL 06 (6226) 8300
 四半期報告書提出予定日 2020年11月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	1,233	—	158	—	155	—	102	—
2020年3月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 102百万円 (—%) 2020年3月期第2四半期 -1百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	76.19	72.64
2020年3月期第2四半期	—	—

(注) 当社は、2020年3月期第2四半期は、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年3月期第2四半期の数値及び2021年3月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,364	1,003	29.8
2020年3月期	1,608	822	51.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 1,003百万円 2020年3月期 822百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,462	13.6	227	1.4	220	8.1	148	3.7	113.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	1,387,800株	2020年3月期	1,301,500株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	31株	2020年3月期	－株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	1,349,596株	2020年3月期2Q	－株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明内容の入手方法)

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から決算説明会の開催を中止いたしますが、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により国内外の経済が大きな影響を受け、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言解除後は国内の経済活動が再開されつつあり、個人消費は緩やかに回復しつつありますが、新型コロナウイルス感染者数が再び増加するなど、今後の経済活動は依然として不透明な状況が続いております。

当社グループが主要市場とする接骨院業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛の影響で来院患者が減少しました。緊急事態宣言解除後は来院患者数は回復傾向にありますが、接骨院数の増加に伴う他院との差別化、柔道整復療養費の減少に伴う経営の悪化、新規出店に伴う資金及び人員（有資格者）の確保、人員の増加に伴う教育制度の構築、接骨院オーナーの老後資金の確保等、様々な問題や課題が発生しております。

このような状況の中、当社グループの接骨院ソリューション事業では、接骨院に対して経営・運営における様々な問題（売上の減少、資金難、経営戦略不足、教育制度の未整備等）に対するソリューションの提供を行ってまいりました。新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言下では対面での営業活動は自粛し、オンライン営業やWebセミナーを開催すること等で、新規・既存顧客への対応を行ってまいりましたが、緊急事態宣言解除後は対面での営業活動を再開しました。金融サービス事業でも外出自粛の影響で営業活動は制限されましたが、オンライン営業や電話対応により、顧客への丁寧な対応を行ってまいりました。接骨院ソリューション事業と同様、緊急事態宣言解除後は対面での営業活動を再開しました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は売上高1,233,587千円、営業利益158,220千円、経常利益155,420千円、親会社株主に帰属する四半期純利益102,828千円となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

<接骨院ソリューション事業>

ソフトウェアでは、接骨院向け患者情報管理システム「Ligoo POS & CRM」及びレセプト計算システム「レセONE」の販売を行いました。また、「レセONE」を業務提携先へ提供したこと及び「レセONE」と「Ligoo POS & CRM」がひとつになった「レセONEプラス」の販売を2020年6月より開始したこと等により、売上高は324,518千円となりました。

機材・消耗品では、新型コロナウイルス感染症拡大により、対面での営業活動等は自粛しましたが、緊急事態宣言解除後は対面での営業活動を再開し、接骨院での自費施術メニューの拡大をサポートする為のツールである機材や当社のコンサルティングノウハウを集約した教材等の販売を行いました。また、2020年5月頃まで品薄状態が続いていましたマスクの販売を行った結果、新規顧客の獲得もあつたこと等により、売上高は247,788千円となりました。

教育研修コンサルティングでは、顧客毎の需要に合わせた年単位など一定の契約期間を基本とする継続型のコンサルティング及び接骨院の幹部または幹部候補者等向けの研修プログラム「GRAND SLAM」等を展開しております。新型コロナウイルス感染症拡大の影響を鑑みて、オンラインでのコンサルティングやWebセミナー形式での研修プログラムを実施したこと等により、売上高は137,570千円となりました。

請求代行では、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開した結果、売上高は114,928千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は824,806千円、営業利益は127,074千円となりました。

<金融サービス事業>

保険代理店では、外出自粛の影響で営業活動は制限されましたが、緊急事態宣言解除後は対面での営業活動を再開しました。また、接骨院ソリューション事業において構築された接骨院ネットワーク及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の販売を行った結果、売上高は197,529千円となりました。

IFA（金融商品仲介業）では、株式や投資信託等の金融商品を用いて、中長期的な視点で資産形成や資産運用のアドバイスを行っております。こちらも外出自粛の影響で営業活動は制限されましたが、オンライン営業や電話対応により、大きな相場変動局面で顧客への丁寧な対応を行いました。また、緊急事態宣言解除後は対面での営業活動を再開したこと及びIFA人員が増加し、販売手数料や信託報酬が増加したこと等により、売上高は211,252千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は408,781千円、営業利益は31,145千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は3,364,506千円となり、前連結会計年度末と比べ1,756,304千円の増加となりました。

流動資産は2,703,107千円となり、前連結会計年度末と比べ1,531,142千円の増加となりました。これは主に、現金及び預金が1,198,939千円、売掛金が215,292千円、商品が78,593千円増加したことによるものであります。

固定資産は661,398千円となり、前連結会計年度末と比べ225,162千円の増加となりました。これは主に、ソフトウェア仮勘定が213,048千円、のれんが14,932千円増加したことによるものであります。

②負債

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,361,046千円となり、前連結会計年度末と比べ1,574,932千円の増加となりました。

流動負債は895,585千円となり、前連結会計年度末と比べ376,715千円の増加となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金が311,066千円、預り金が40,315千円、未払法人税等が24,165千円増加したことによるものであります。

固定負債は1,465,460千円となり、前連結会計年度末と比べ1,198,217千円の増加となりました。これは主に、長期借入金が1,196,637千円増加したことによるものであります。

③純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産は1,003,460千円となり、前連結会計年度末と比べ181,371千円の増加となりました。これは主に、譲渡制限付株式報酬としての新株発行等による資本金及び資本剰余金がそれぞれ39,328千円、親会社株主に帰属する四半期純利益を102,828千円計上したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は2,128,327千円となり、前連結会計年度末と比べ1,196,639千円の増加となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、使用した資金は68,717千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益155,420千円、減価償却費39,397千円があったものの、売上債権の増加額209,369千円、たな卸資産の増加額57,981千円等によるものであります。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、使用した資金は218,187千円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出215,832千円等によるものであります。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、得られた資金は1,483,544千円となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出121,947千円があったものの、長期借入れによる収入1,600,000千円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2021年3月期中は新型コロナウイルス感染症による影響が続くという想定の下、緊急事態宣言の発令下でもある第1四半期連結期間は訪問営業の自粛等、当社グループの営業活動に影響はあるものの、第1四半期連結期間以降は業務運営が正常化することを前提としております。

現時点で政府による緊急事態宣言は解除され、当社グループの営業活動も再開していることから当初想定範囲内であると考え、2020年5月12日の「令和2年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	942,188	2,141,128
売掛金	112,093	327,386
商品	77,970	156,564
その他	40,333	78,690
貸倒引当金	△620	△661
流動資産合計	1,171,965	2,703,107
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	62,516	65,513
減価償却累計額	△17,980	△20,274
建物附属設備(純額)	44,535	45,239
車両運搬具	12,775	14,472
減価償却累計額	△9,875	△12,183
車両運搬具(純額)	2,899	2,289
工具、器具及び備品	45,418	47,526
減価償却累計額	△26,957	△30,453
工具、器具及び備品(純額)	18,460	17,073
有形固定資産合計	65,895	64,602
無形固定資産		
のれん	25,756	40,689
ソフトウェア	186,150	158,552
ソフトウェア仮勘定	68,380	281,428
顧客関連資産	32,933	29,133
その他	490	390
無形固定資産合計	313,711	510,194
投資その他の資産		
繰延税金資産	28,361	14,048
その他	30,644	76,238
貸倒引当金	△2,376	△3,685
投資その他の資産合計	56,629	86,602
固定資産合計	436,236	661,398
資産合計	1,608,202	3,364,506

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,347	8,366
1年内返済予定の長期借入金	133,460	444,526
未払金	86,638	104,835
未払費用	52,556	59,324
未払法人税等	25,199	49,364
未払消費税等	32,086	12,181
前受金	42,190	32,817
預り金	132,976	173,292
賞与引当金	9,342	9,748
その他	72	1,128
流動負債合計	518,870	895,585
固定負債		
長期借入金	252,323	1,448,960
資産除去債務	14,920	16,455
繰延税金負債	—	44
固定負債合計	267,243	1,465,460
負債合計	786,113	2,361,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	424,371	463,700
資本剰余金	343,338	382,667
利益剰余金	54,378	157,206
自己株式	—	△114
株主資本合計	822,088	1,003,460
純資産合計	822,088	1,003,460
負債純資産合計	1,608,202	3,364,506

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	1,233,587
売上原価	541,913
売上総利益	691,674
販売費及び一般管理費	533,454
営業利益	158,220
営業外収益	
受取利息	31
受取賃貸料	368
保険解約返戻金	249
その他	142
営業外収益合計	792
営業外費用	
支払利息	3,566
その他	25
営業外費用合計	3,591
経常利益	155,420
税金等調整前四半期純利益	155,420
法人税、住民税及び事業税	37,672
法人税等調整額	14,920
法人税等合計	52,592
四半期純利益	102,828
親会社株主に帰属する四半期純利益	102,828

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	102,828
四半期包括利益	102,828
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	102,828
非支配株主に係る四半期包括利益	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

当第2四半期連結累計期間
(自 2020年4月1日
至 2020年9月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	155,420
減価償却費	39,397
のれん償却額	1,593
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△59
賞与引当金の増減額(△は減少)	405
受取利息	△31
支払利息	3,566
売上債権の増減額(△は増加)	△209,369
たな卸資産の増減額(△は増加)	△57,981
仕入債務の増減額(△は減少)	50
前払費用の増減額(△は増加)	△11,135
未払金の増減額(△は減少)	17,404
未払費用の増減額(△は減少)	3,002
前受金の増減額(△は減少)	△9,372
預り金の増減額(△は減少)	40,202
未払消費税等の増減額(△は減少)	△22,276
その他	414
小計	△48,767
利息の受取額	8
利息の支払額	△4,250
法人税等の支払額	△15,707
営業活動によるキャッシュ・フロー	△68,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△2,300
有形固定資産の取得による支出	△4,536
無形固定資産の取得による支出	△215,832
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	5,984
その他	△1,504
投資活動によるキャッシュ・フロー	△218,187
財務活動によるキャッシュ・フロー	
長期借入れによる収入	1,600,000
長期借入金の返済による支出	△121,947
株式の発行による収入	7,809
株式公開費用による支出	△2,203
その他	△114
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,483,544
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,196,639
現金及び現金同等物の期首残高	931,687
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,128,327

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年7月14日開催の取締役会の決議により、譲渡制限付株式報酬として、2020年7月31日付で新株式を29,000株発行し、資本金及び資本準備金がそれぞれ33,669千円増加いたしました。また、新株予約権の行使による払込みを受け、当第2四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ5,659千円増加いたしました。

この結果、当第2四半期会計期間末において資本金が463,700千円、資本準備金が382,667千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	接骨院ソリューション事業	金融サービス事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	824,806	408,781	1,233,587	—	1,233,587
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,853	—	27,853	△27,853	—
計	852,660	408,781	1,261,441	△27,853	1,233,587
セグメント利益	127,074	31,145	158,220	—	158,220

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。